

ファイン・ファイネット

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

FINE FINET

ファイネット発行

2019

Vol.51

Autumn

[FINET User's Voice]

継続的なEDI(データ交換) 拡大による業務効率化

ユアサ・フナシヨク株式会社様

[FINET INFORMATION]

サービス基盤のリニューアル及び 消費税軽減税率制度への対応について

ユアサ・フナシヨク株式会社 様

会議室 A~D
管理本部 情報システム部FINET
User's Voice

写真: (左から)根津部長、佐々木様、滝口係長、根岸様

継続的なEDI(データ交換)拡大による業務効率化

日々行われる仕入先への発注業務。
より効率的に、より正確に、
よりスピーディーに業務を行なうため、
EDI拡大に継続的に取り組まれているユアサ・フナシヨク様。
取り組みの背景や効果、今後の方針をうかがいました。

ユアサ・フナシヨク株式会社

管理本部 情報システム部 部長 根津 隆裕様

管理本部 情報システム部 根岸 孝一様

管理本部 情報システム部 係長 滝口 友梨様

管理本部 情報システム部 佐々木 誠様

発注EDI率は70%

—はじめに貴社の事業概要についてお聞かせください。

根津 ユアサ・フナシヨクは千葉県を本社として首都圏に事業展開している総合食品商社です。商事部門として小売、食品メーカーなどのお得意先様への卸売業を行っており売上の約90%を占めます。その

他にホテル部門と不動産部門があります。商事部門では家庭用食品から食品原料、業務用食材、米穀、飼料・畜産など、またユアサフナシヨク・リカーでは酒類などを幅広く取り扱っているため、様々な分野のメーカー様から商品を仕入れています。

—メーカー様への発注をEDI化されたのはいつ頃からですか？

根津 弊社では1990年頃から発注をEDI化してい

ます。食品、菓子、酒類など取扱いカテゴリーは多岐にわたりますが、メーカー様への発注EDIは全てファイネットの商品流通VANサービスを通じて行っています。おかげさまで現在100社以上のメーカー様とEDI化が来ています。カテゴリーによってばらつきはあるものの、全体として発注のEDI率は約70%まで進んできました。「物流問題」「働き方改革」など企業として対応すべき課題は様々ありますが、情報システム部としては「経費節減」を念頭に「業務効率化」「生産性向上」をより一層進めていく必要があります。そのため発注のEDI拡大についてはこれからも継続的に取り組んでいきます。

更なるEDI拡大

——発注のEDI拡大に向けた直近の取り組みは？

根岸 2018年度はより一層のEDI拡大を目指し、ファイネットに加入されている全メーカー様のうち弊社がまだ発注をEDI化出来ていないメーカー様や、EDI化は出来ているものの一部FAX発注が残っているメーカー様を洗い出し、そのメーカー様に積極的にEDI化の折衝を実施いたしました。6～8月にかけて41社のメーカー様へEDI化を打診し、9月からはEDI対応可能と回答頂いたメーカー様と1社1社地道にマスタ整備や運用/テスト方法などの確認を行い、FAX発注からEDIへの切り替えを進めていきました。結果として2019年3月には新たに15社のメーカー様とEDIを開始することができました。また、20社のメーカー様とはEDIの範囲を拡大し、残っていたFAX発注を削減する事ができました。

ご対応頂いたメーカー様各社の窓口の方にはあらためてこの誌面でも御礼をお伝えしたいですね。

——根岸様のお人柄が出ていらっしゃるんですね。それではEDI拡大の取り組みの中で苦労されたことはございますか？

根岸 メーカー様にEDI化を打診するにあたり、各社のEDIご担当者と直接お話をしたいと思いましたが

連絡先が分からなかったためファイネットに相談したところ、EDI窓口担当者の方を紹介して頂きメーカー様とお話することができました。

その後のメーカー様との折衝の過程では、EDI化に対するメーカー様側の社内合意取り付けまでかなりの時間が必要となるケースや、一部メーカー様からは取引実績を鑑みた費用対効果の観点からお断りされるケースがあったり、また現物条件取引があるためにEDIでの運用が難しいといったケースもあり、実際にお話を進める中で様々な課題があることもわかりました。しかし、このような課題に気付けたことは今後の更なるEDI拡大に向けて大きな収穫であったと思います。

EDI化によるメリット

——発注のEDI拡大によって得られるメリットを教えてください。

根岸 発注EDIを行う最大のメリットは、発注内容がメーカー様の受注締め時間までに確実に届けられるということです。弊社は現在EDIと自動FAXによる2通りの発注方法があり、自動FAX発注の場合、各拠点で入力した発注データをもとに、本社にあるFAXサーバを経由して発注を行っています。月初や週始め、連休前後は発注量が多くなるため、回線混雑による送信遅延や、それに伴う現場での送達確認などが発生することがあります。メーカー様の受注締め時間に発注が間に合わず、その結果お得意先様へ商品をお届けできないというリスクがFAX発注には潜んでいます。メーカー様も近年の働き方改革やトラックドライバー不足などの影響から、締め時間後の個別対応が以前と比べ厳しくなったと聞いています。

EDIであれば発注データをまとめてファイネットに送信するだけで良いことから、メーカー様の受注締め



時間内に確実に発注内容を届けることができます。また、現場での送達確認やリファックスの受領なども不要となるため、業務負荷軽減に大きく寄与しています。

今後も2018年度にEDI化できなかったメーカー様26社を含め、より多くのメーカー様とのEDI化を実現すべく引き続き継続的に取り組んでいきます。今回同



席した弊社の若手社員にもこの取り組みに積極的に関与はじめてもらっています。

滝口 弊社情報システム部は少人数で日々の業務を行っており、今後の世代交代も視野に入れながら、諸先輩方がこれまで培ってこられた業務知識や経験を引き継いでいきたいと思っています。

佐々木 私は現在、上司や先輩の取り組みを見て様々な業務を習熟しているところです。EDI拡大は、今回の取材を通して改めて重要な取り組みであると認識いたしました。今後、メーカー様とEDI化の折衝など積極的に取り組んでいきたいです。

発注EDI以外の取り組み

—今後のEDI拡大方針についてお聞かせください。

根津 先ほど根岸からありました通り、引き続き発注のEDI拡大に取り組んでいきますが、2019年度は出荷案内についてもEDI拡大を目標に動いておりま

す。弊社の出荷案内データ活用の目的は、直送取引データ計上の早期化と業務効率化を図ることです。メーカー様から得意先様に商品が納品される直送取引について、出荷案内データから弊社の仕入と売上を自動計上する仕組みのシステム開発を行い、2019年7月に完了したところです。今までは、郵送やFAXで送られてきた出荷案内書をもとに直送計上の入力作業を行っていましたが、この出荷案内データを活用した直送自動計上機能を導入することにより、直送取引のメーカー様別得意先様別の仕入と売上の単価条件を管理するマスタを整備していただくと、人手を介する入力作業がほぼ無くなり、出荷案内データを頂いた当日には直送取引データ計上が可能となりました。

現在は個別にメーカー様にご協力を頂いて、出荷案内データの仕様確認を行いテスト期間として一時的に出荷案内書と出荷案内データを併用しながら検証を進めているところです。今後の展開に向けて着々と準備を進めておりますので、メーカー様には弊社から出荷案内EDI化のご相談がありましたら、是非ともご協力をお願いします。



INFORMATION





ちばの恵みは千葉の自慢の名産品を、産地から直接お届けします。生産者の努力と想いがぎゅっと詰まった「ちばの贈り物」を発見できます。厳選された「千葉の味と匠の技」をお届け！
ちばの名産品・伝統的工芸品を通販で簡単お取り寄せ！
大地と海の恵みが勢ぞろい！千葉県は食材の宝庫です。

——現在、インターネット手順への切り替えにも取り組まれていますね。

根津 まさに2019年下期から、これまで使っていた全銀協TCP/IP手順をインターネット手順(JX)に順次切り替えていっています。弊社は今年度基幹システムのハードウェアのリプレイスなど各種システムの入れ替えがある時期でしたので、このタイミングを機にインターネット手順への切り替えも行うことにいたしました。ファイネットの推奨しているインターネット手順への切り替え期限は2022年12月までであり、まだ時間が相当ありますが、弊社としては早めに切り替える判断をいたしました。インターネット手順に切り替えることで、これまでかかっていた通信費(通話料)がゼロになるわけですから、いずれ切り替えなければならないなら、早ければ早いほどそのコストメリットは最大化します。また、切り替える事で通信速度が向上し運用負荷が低減されるメリットも得られるでしょう。

他社も同様のお考えを持たれているかと思いますので、これからインターネット手順への切り替えを実施される企業が益々増えていくのではないのでしょうか。弊社としてはファイネットが切り替え対応で忙しくなる前に実施できたことも良かったかもしれませんね。

——貴社は食品・酒類業界の卸売業の中でも高い経常利益率を継続的に出されています。何か秘策のようなものが？

根津 おかげさまで直近2019年3月期(第48期)では売上高1,085億円、経常利益率1.92%にて期を締めることができました。もちろんお取引先様と仕入先様の

ご協力があってこそこの数字ですが、弊社の社員一人一人が「効率化」「生産性向上」に取り組んでいることも一因だと思います。情報システム部としては先程よりお話が出ている各種EDI化による経費節減、インターネット手順への切り替え(=通話料廃止)などを例とした、様々なコストダウンを積み重ねて参りました。引き続き経費節減を進めながら若い力を一層取り入れて、より盤石な土台を造り上げていきたいですね。

ファイネットへの期待

——最後にファイネットに期待することをお聞かせください。

根津 ファイネット加入メーカー様の更なる増加を期待しています。特に弊社の場合はメーカー様への発注EDIは全てファイネットの商品流通VANサービスを通じて行っておりますので、メーカー数の増加が業務効率化に直結いたします。そういう意味では今後、食品、酒類のメーカー様にとどまらず、様々なカテゴリーのメーカー様がファイネットに加入してもらえると嬉しいですね。

——ご期待に沿えるよう引き続き取り組んで参ります。本日は貴重なお話をお聞かせいただき有難うございました。



CORPORATE PROFILE



ユアサ・フナシク株式会社

首都圏を中心に家庭用食品から食品原料、業務用食材、米穀、飼料・畜産など幅広い商品を取り扱う、地域密着型の総合食品商社です。食品の卸売りの他に、自社精米工場では千葉県をはじめとする各地の銘柄米を精米し販売、また原料・食材にこだわった各種PB商品の開発にも取り組んでいます。その他にビジネスホテル(パールホテルズ)の経営や不動産の賃貸事業も展開しています。「食」に関わる様々なシーンに対応し「食」を通じて人々の健康で豊かな暮らしを提案します。



サービス基盤のリニューアル及び 消費税軽減税率制度への対応について

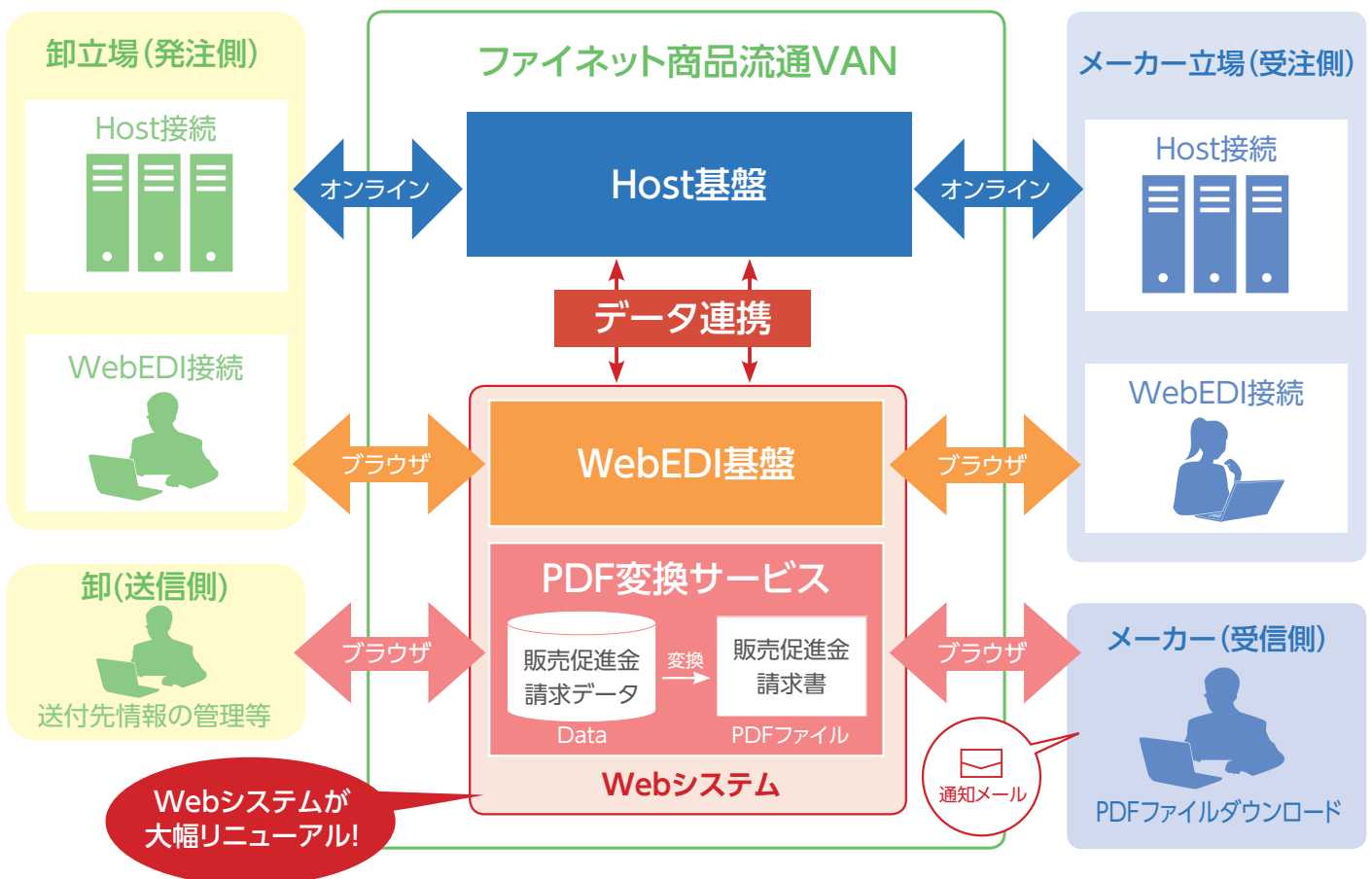
サービス基盤のリニューアルについて

このたび商品流通VAN WebEDIを2019年8月、PDF変換サービスを2019年7月にそれぞれ大幅リニューアルしました。リニューアルにより、視認性や操作性を向上しておりますので是非ご活用ください。

また、PDF変換サービスはリニューアルに合わせて、緊急避難システム(※1)に対応しました。

※1 大規模災害時に首都圏におけるサービス継続が困難となった場合、首都圏から離れた地域のデータセンターに構築したシステムに切り替えを行いサービス提供を継続するための仕組みです。

■ サービス基盤の構成



■ WebEDIの主な変更点

卸立場(発注側)

- ・データ取込/送信処理時間の短縮
- ・帳票イメージの刷新
- ・取引先のデータ受信日時表示

メーカー立場(受注側)

- ・データ取込/送信処理時間の短縮
- ・帳票イメージの刷新
- ・商品に対して取引先毎の単価/販売期間等の設定機能追加
- ・操作対象の選択上限数引き上げ
- ・取引先のデータ受信日時表示

■ PDF変換サービスの主な変更点

卸立場(送信側)

- ・Webサイト利用時間の拡張
- ・自動承認機能の追加
- ・公開停止/公開停止解除機能の追加
- ・帳票変換のリアルタイム化
- ・送付先情報CSVアップロード件数上限引き上げ

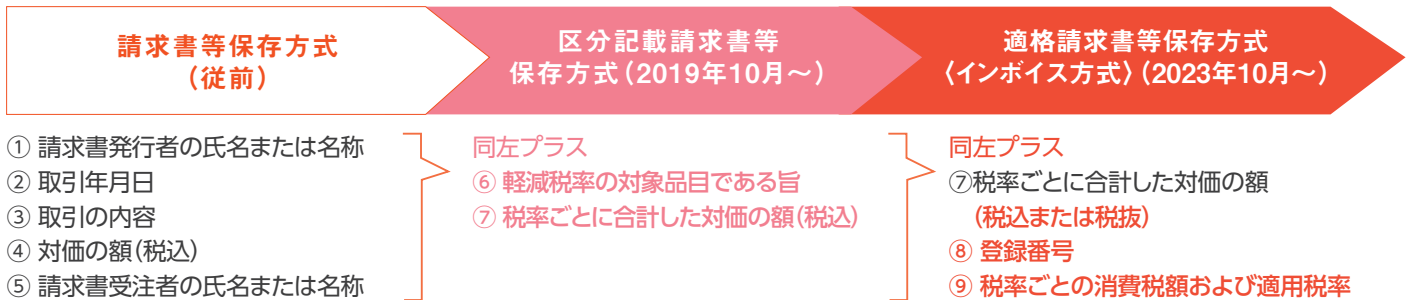
メーカー立場(受信側)

- ・Webサイト利用時間の拡張
- ・管理者変更時の代行者引き継ぎ
- ・代行者による複数送信元帳票の一括表示
- ・自社情報の一括変更機能追加
- ・公開通知メールの集約

消費税軽減税率対応について

2019年10月1日より消費税の税率が8%から10%に引き上げられると同時に、消費税軽減税率制度が施行されます。軽減税率(8%)は酒類・外食を除く飲食物品、新聞、一体資産の一部が対象品目です。

消費税軽減税率制度では消費税の仕入税額控除方式が、従前は請求書等保存方式であるのに対し、2019年10月1日から2023年9月30日までは区分記載請求書等保存方式、2023年10月1日からは適格請求書等保存方式(以降、インボイス方式)が導入されます。



詳細は一般社団法人日本加工食品卸協会のガイドライン「消費税軽減税率対応 企業間取引の手引き」(※2)をご参照ください。

※2 一般社団法人日本加工食品卸協会URL: <http://nsc.c.ooco.jp/>

当社では上記および日食協標準EDIフォーマットの改訂(2018年8月)を踏まえ、下表のとおり商品流通VANのシステム対応を行いました。また、資材VANについても伝送レコードフォーマットの改訂とシステム対応を実施いたしました。消費税軽減税率制度に対応したEDIフォーマットのご利用に際しては、事前にお取引先様と調整をお願いいたします。

対象サービス		対応内容	対応時期
商品流通VAN	WebEDI	「消費税区分」の新区分値対応 エンドレコード追加項目への対応 ・Web画面入力 ・ダウンロード/アップロードフォーマットなど	2019年8月
	FAX変換サービス (出荷案内書)	出力帳票の軽減税率対応 ・軽減税率対象商品への記号(*)表示など	2019年9月
	PDF変換サービス	出力帳票の軽減税率対応 ・税率ごとの合計金額表示など	2019年7月
資材VAN	WebEDI	請求照合、支払照合への消費税区分追加対応 ・Web画面入力 ・ダウンロード/アップロードフォーマットなど	2019年9月

ご不明な点がございましたら、以下までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク ☎ **0120-091-094**(年中無休 7:30~23:00)

FINE FINETの送付先等の変更について

今回、ご送付いたしております「FINE FINET(ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら、以下までご連絡ください。

【連絡先】

株式会社ファイネット 営業推進部

Tel.03-5643-3450

e-mail marketing-promotion@finet.co.jp

ファイネットでは、「インターネット手順」への移行を推進しています

東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社(以下、NTT東西)の公表内容

- ・公衆交換電話網(PSTN)からIP網への移行を2024年1月より開始
- ・同時にINSネット(デジタル通信モード)の提供を終了

これにより長い間EDI通信で利用されてきた「全銀協TCP/IP手順」などの従来手順が、ご利用いただけなくなる可能性があります。

さらに、NTT東西以外のISDNサービスをご利用の場合は、2023年1月から処理遅延が発生する可能性についても示唆されています。

これに伴い、弊社では「インターネット手順」への移行を、**2022年12月までに**実施いただくことを推奨しております。手順移行に関するご質問・ご相談等ございましたら、ヘルプデスクまでお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク



0120-091-094 (年中無休7:30~23:00)

ご担当者情報を最新の状態に保つためにご協力をお願いいたします

弊社では、サービスに関する重要なお知らせをお届けするため、ご加入ユーザー様にはデータ交換に関する窓口の登録を行っていただいております。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、手続きサイトより「担当者登録状況」をご確認のうえ、ご担当者の登録情報に変更がある場合は、お早めに手続きを行っていただきますようお願いいたします。

【お申込方法】

- ①弊社、手続きサイトからお申込ください。
手続きサイトURL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>
- ②手続きサイトのご利用方法がご不明の場合のお問い合わせ先

ファイネット ヘルプデスク



0120-091-094 (年中無休7:30~23:00)



株式会社ファイネット

FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.51 2019 Autumn 2019年10月1日発行

[発行](株)ファイネット 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル7階
TEL.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499 [編集・発行責任者] 久我 章良

<https://www.finet.co.jp>